

原発 避難計画「県民第一」で 島根 意見交換会で住民が県に

中国電力島根原発（松江市）で重大事故が起きた場合の避難計画について話し合う、県と住民の意見交換会が22日、松江市内であった。避難の安全基準について「国による」を繰り返し主張する県民に対し、出席した住民約30人は「県民ファーストでお願したい」と要望した。

意見交換会では、スクリーニングの体制などに関連し、「（柏崎刈羽原発のある）新潟県のように独自に検討し、国に意見する機関をつくってほしい」との意見があったが、県は「私どもは（国に）

従っただけ」と回答するにとどまった。

重大事故が発生し、長期に及ぶ避難生活が生じた場合の心身への影響も考慮してほしいとの意見には「避難計画はあくまで避難先に着くまでのもの」と答え

【根岸愛美】